

密集市街地の小さな広場を活用した地域防災力向上に向けた挑戦。 ～ももに広場を舞台に育まれる「共助力」の物語～

想い

軌跡



ももに広場管理運営会 会長

岸村 修

ももに広場の物語は創業者の志から始まった。

「創業の地を地域に無償提供したい」という創業者の志から始まった“広場づくり”。行政と地域で役割を分担しながら、住民がアイデアを出し合って広場を基本設計。大阪市が広場を整備、管理運営は地域住民が行うことに。

広場づくりは地域づくりでもあった。

「そもそも公共とは何か。」住民間の軋轢や近隣交渉、運営時の管理体制など課題が続出…

何度もワークショップを行い、そのプロセスから地域の防災や防犯、環境や交流のビジョンが誕生した。

誰もが楽しむ人、楽しませる人に。

広場では防災訓練以外に、様々なイベントを手づくりで実施。毎月開催の「青空カフェ」は、全員がスタッフで全員がゲスト。皆好き好きにCDや本、手作りのお菓子やアート作品を持ち寄って、広場は青空の下、地域のリビングに！

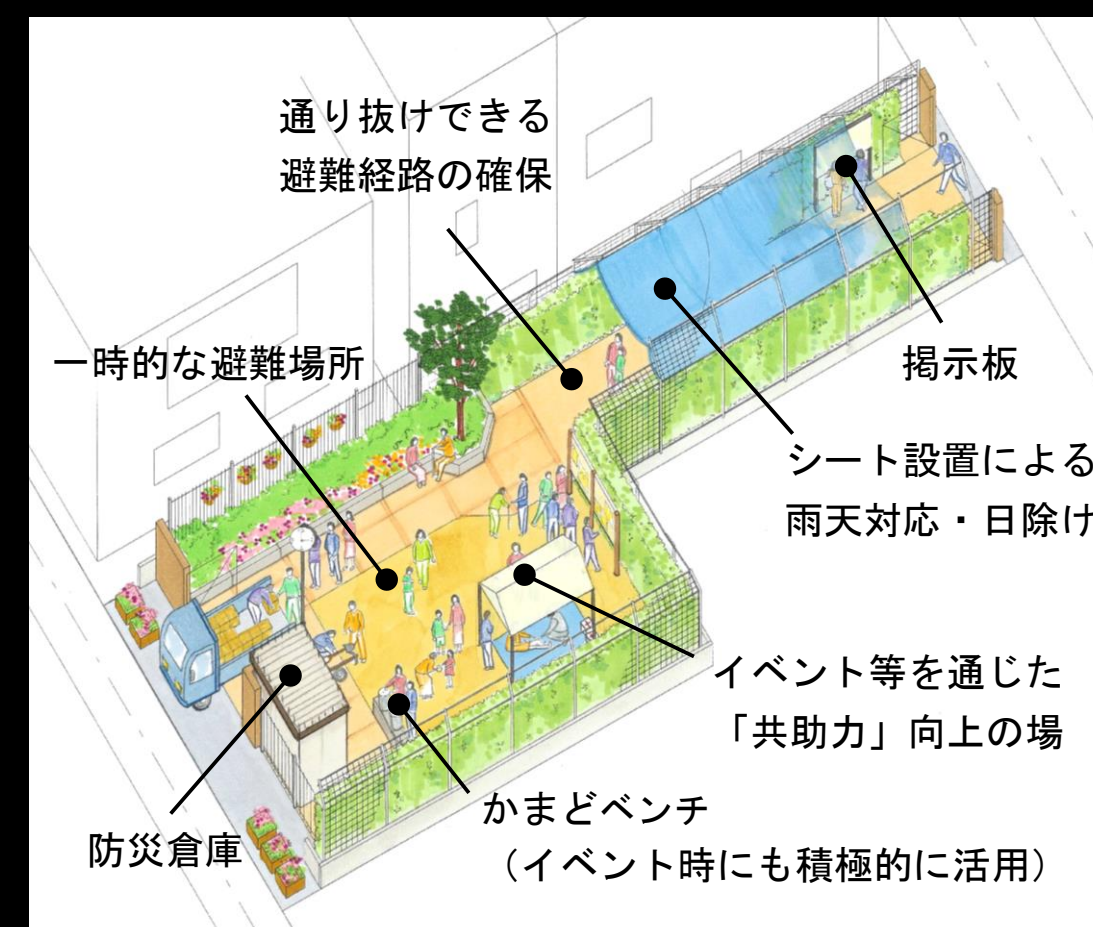
春の「広場誕生祭」や秋の「敬老祭」では、小学校新入生や高齢者に、手づくりの招待状や花束を贈るなど、地域ぐるみで入学と長寿を祝う。

悲しみも分かち合えるまちへ。

ろうそくを灯して、その年に地域で亡くなられた方々を偲ぶ年末の「光の祭」。暮らしの中の涙だって分け合えば、素顔の繋がりが育まれる。

小さな広場での挑戦という物語は続く。

ももに広場を通して、地域の皆の中に眠れる資源があることに気づいた。その資源を活用し、自助や公助だけでなく、お互いが支えあう「共助力」を培うことで、地域防災力が高まる。その理想を支えに、「小さな広場」での挑戦は続く。



住民アイデアが反映された広場



広場づくりのワークショップ



約200㎡の小さな「ももに広場」を舞台に展開される様々なイベント

【主な活動実績】

- 平成23年10月 土地の無償提供の受諾式
- 平成23年11月～ ワークショップによる広場の基本計画づくり
- 平成25年2月 ももに広場の完成
- 平成25年3月～ ももに広場の管理・運営(清掃活動・様々なイベントの企画・実施)

〔参考URL〕 <http://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000385574.html>



ももに広場管理運営会 岸村会長